

# 近代英語協会第42回大会

共催：名古屋大学大学院人文学研究科

日時：2025年6月28日（土）

場所：名古屋大学 東山キャンパス 文学部本館1階 127 講義室  
〒464-8601 愛知県名古屋市千種区不老町

受付開始 9:10

開会の辞 9:50～9:55

会長 日本大学教授 保坂道雄

シンポジウム 10:00～12:30

「EEBO TCP から見えてくる構文の変化と変異」

司会：名城大学教授 久米祐介

「NPN 表現の通時的変化について」

講師：名古屋大学大学院生 尾野理音

「助動詞 must の非人称構文とその歴史的発達について」

講師：名城大学助教 森敏郎

「近代英語期における非選択目的語結果構文の歴史的発達」

講師：皇學館大学准教授 玉田貴裕

「中間構文の通時的発達と変異—ヘルシンキコーパスと EEBO TCP から得られた事例の分析に基づいて」

講師：名城大学教授 久米祐介

昼食 12:30～13:30

総会 13:30～14:00

研究発表

第一部 14:10～15:30

司会：京都大学教授 家入葉子

1. 「18世紀初期における関係代名詞使用を巡っての考察—Daniel Defoe の作品群を中心として」  
京都大学大学院生 島田悠太

2. 「自由付加詞と休止、音調との関係」

愛知学院大学大学院生 西川明美

第二部 15:40～17:00

司会：奈良教育大学教授 米倉よう子

1. 「使役動詞の受動文に関する通時的考察」

名古屋大学大学院生 外翔太

2. 「語用論的強化による初期近代英語の進行形の意味変化：「永続性」から「一時性」へ」  
日本大学講師 田中智己

特別講演 17:10～18:10

司会：関西外国語大学教授 中村不二夫

“When syntax and meaning are ‘under construction’:

An empirical view of fragments in the recent diachrony of English”

Full Professor, Javier Pérez-Guerra, University of Vigo (Spain)

(日本学術振興会外国人招へい研究者(短期)講演)

閉会の辞 18:15～18:20

名古屋大学教授 田中智之

懇親会 18:30～20:00

会場：南部食堂 1階 Mei-dining